

[成果情報名] 小輪系アスター 7 ~ 8 月出荷型栽培における葉焼け発生のない品種

[要約] 小輪系アスターの 7 ~ 8 月出荷型栽培において、ネネ、ハナ、プチ系には葉焼けは発生せず、この作型での栽培は可能である。ステラ系は全品種とも葉焼けが発生し、特に「ステラホワイト」「ステラトップブルー」は発生しやすい。

[キーワード] アスター、葉焼け

[担当] 長崎県総合農林試験場 野菜花き部 花き科

[連絡先] 電話 0957-26-3330、電子メール hazeyama@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 花き

[分類] 指導

[背景・ねらい]

アレンジメントに適した小輪系アスター 7 ~ 8 月出荷で、梅雨の時期に花芽分化する作型の栽培について、葉焼け発生する可能性があるが、どの品種が起こすのか品種の特性について詳細には判っていない。そこで、7 ~ 8 月出荷型栽培の葉焼けを起こさない品種の検索を行う。

[成果の内容・特徴]

1. ネネ、ハナ、プチ系は葉焼けの発生が少ない(表 1)。
2. ステラ系ではすべての品種で葉焼けが発生し、特に「ステラホワイト」「ステラトップブルー」は葉焼け率が高い(表 1)。
3. ステラ系の各品種においても、葉焼けの発生がない株の切り花品質は十分である(表 2)。
葉焼けは、花芽分化時期と梅雨の曇天の急な晴れ間が重なり、天葉が焼ける現象で、ステラ系は葉が薄いことから発生が多かったと推察される。

[成果の活用面・留意点]

1. アスターの作付け品種選定の参考資料として活用できる。

表1 アスター品種別葉焼け発生率

| 品種名 | 採花日 | 葉焼け % |
|-------------|-----------|-------|
| ステラスカーレット | 7/22-8/4 | 1.0 |
| ステラホワイト | 7/17-7/31 | 17.7 |
| ステラトップブルー | 7/21-8/4 | 19.8 |
| ステラトップローズ | 7/17-7/31 | 2.0 |
| ステラブルー | 7/23-8/7 | 3.1 |
| ステラディープローズ | 7/22-7/31 | 1.0 |
| ネネスカーレット | 7/31-8/11 | 0 |
| ネネローズインブ | 7/23-8/11 | 0 |
| ネネホワイト | 7/31-8/11 | 0 |
| ネネバイオレット | 8/4-8/14 | 0 |
| ハナホワイト | 8/4-8/21 | 0 |
| ハナピンク | 8/11-8/22 | 0 |
| ハナパープルフラッシュ | 8/11-8/21 | 0 |
| ハナパープル | 8/11-8/21 | 0 |
| ハナピュアローズ | 8/11-8/23 | 0 |
| ハナローズ | 8/11-8/22 | 0 |
| プチピンク | 8/4-8/21 | 0 |
| プチパープル | 8/4-8/18 | 0 |
| プチローズ | 8/11-8/23 | 0 |
| プチスカーレット | 8/18-8/25 | 0 |

播種：4月21日、定植：5月15日

表2 ステラ系統の切り花品質

| 品種 | 切り花重g | 切り花長cm | 分枝数 | 花数 |
|------------|-------|--------|-----|------|
| ステラスカーレット | 50.7 | 66.7 | 7.9 | 14.7 |
| ステラホワイト | 52.1 | 66.9 | 8.5 | 14.9 |
| ステラトップブルー | 52.4 | 65.7 | 8.7 | 14.6 |
| ステラトップローズ | 53.0 | 67.4 | 9.2 | 14.5 |
| ステラブルー | 66.7 | 78.6 | 4.5 | 11.4 |
| ステラディープローズ | 50.0 | 69.3 | 8.5 | 15.8 |

[その他]

研究課題名：アスターの高品質生産技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2001年～2003年

研究担当者：櫛山妙子、松尾崇宏、北村信弘